

樹木診断用鋼棒

取扱説明書

製造・販売元



ダイトウ テクノグリーン株式会社

この度は“樹木診断用鋼棒”をご購入いただき、誠にありがとうございます。
以下に使用上の注意事項を記載しております。製品を安全にお使いいただくため、
十分ご理解のうえ、正しくご使用下さい。

使用上の注意事項



警告 (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの)

- ◆本製品は樹木診断用の鋼棒です。異なる目的で使用しないで下さい。
- ◆本製品を投げたり、振り回したりしないで下さい。
- ◆本製品の先端を人に向けたりしないで下さい。



注意 (誤った取扱いをしたときに、軽傷または物的損害に結びつく可能性のあるもの)

- ◆本製品を組立・使用する際は、軍手等の保護具を着用して下さい。
- ◆持ち運び時は、下部ロッドの先端にキャップを装着のうえ、分解して収納袋に入れて下さい。
- ◆本製品を使用する際は、人的・物的損傷しないように周囲を確認して下さい。
- ◆本製品を地面に挿入する際は、埋設物がないことを確認して下さい。
- ◆本製品はハンマー等による打撃挿入は想定しておりません。硬い物（岩、コンクリート等）に強く当たった場合、先端が破損することがあります。
- ◆接続部が緩んだまま使用すると、ネジ部が曲がったり、接続部が外れたりする場合があります。使用前、使用中にネジ締めを確認し、緩みがあった際には付属のスパナでしっかりと締め付けて下さい。
- ◆本製品は銃砲刀剣類所持等取締法の規格外ですが、正当な理由なく所持していた場合、軽犯罪法に抵触する恐れがあります。持ち運びの際は、「樹木診断用鋼棒」と表記された収納袋に入れ、本取扱説明書など一緒に所持されることをおすすめします。

1. 樹木診断用鋼棒とは

樹木診断用鋼棒は、樹木の外観診断を行う際に根株や幹の腐朽状態を探るための探索棒です。

2本のロッド（上部 365mm、下部 343mm）を接続することで、約 700mm までの診断が可能です。

2. 特徴

- 2タイプの長さで使用可能（L35cm、L70cm）
- コンパクトな分割携帯式
- 深さのわかる刻み入り（10cm 毎）
- サビに強いステンレス製

3. 仕様

形状

ハンドル部：φ16mm×L120mm

上部ロッド：φ7mm×L365mm

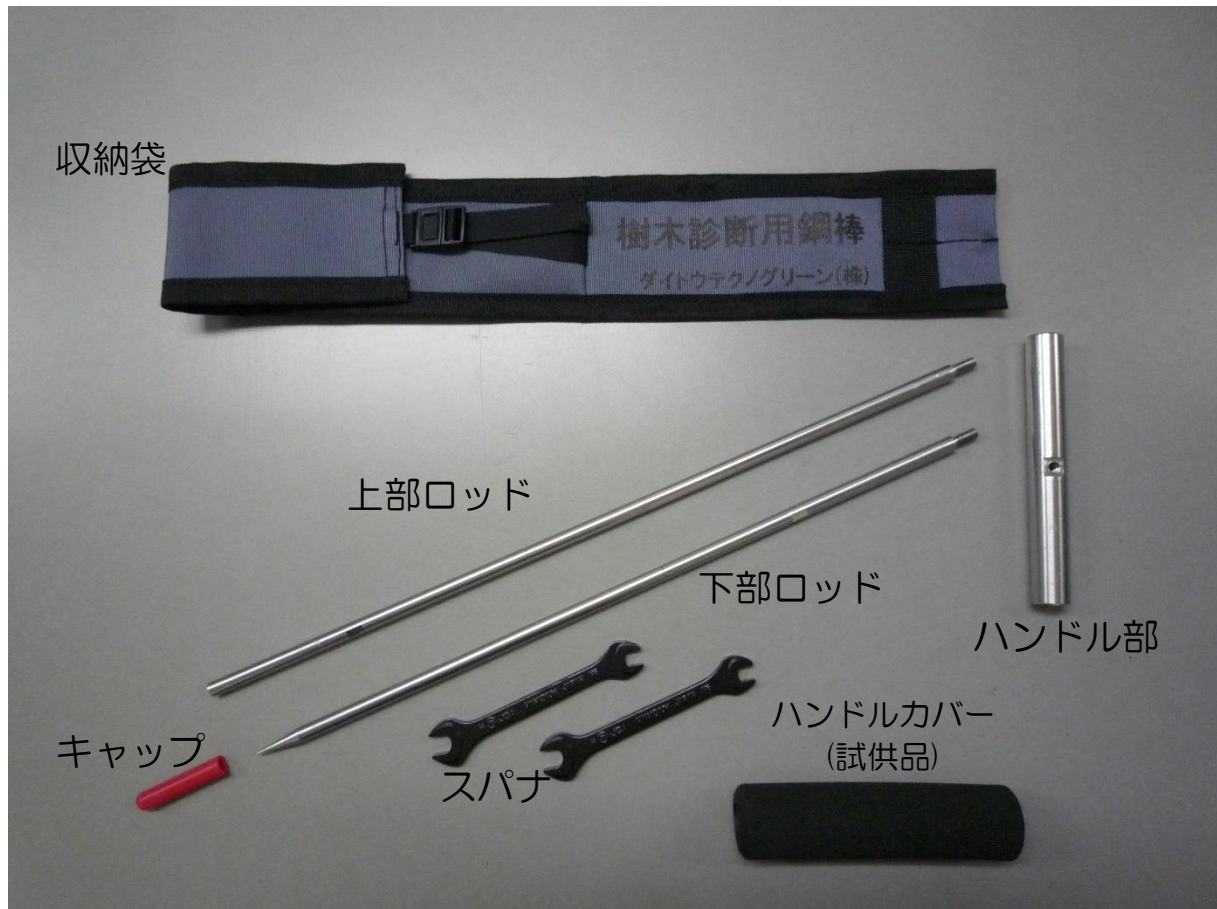
下部ロッド：φ7mm×L343mm

材質 ステンレス鋼

質量 約 0.4kg

収納時寸法 380×70×25mm

4. 各部の名称

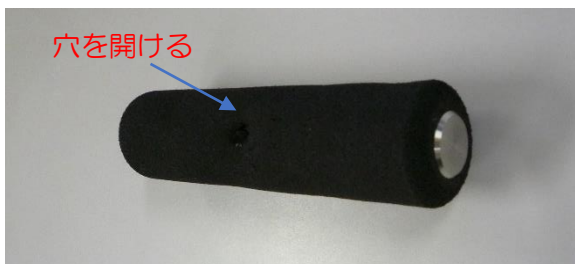


※同梱のハンドルカバーは試供品です。ご利用されなくても作業に支障はございませんがハンドルに被せてご利用されますと連続作業時の手のひらの痛みを軽減できますので、お好みによりご利用下さい。

ハンドルカバーが劣化し交換されます際は、インターネット通販やホームセンター等にて「スポンジカバー 長さ 120mm、内径 15mm」のものをご購入頂くか弊社へお問合せ下さい。(テニスラケットのグリップテープや各種グリップカバーをご利用される方もいらっしゃいます。)

<参考：ハンドルにハンドルカバーを装着した状態>

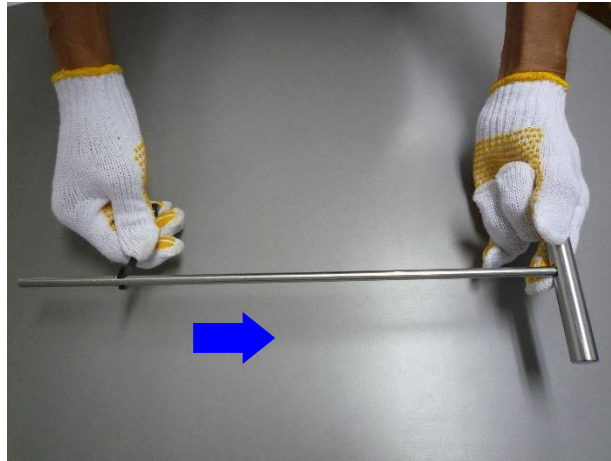
※ハンドルカバーのハンドルのネジ穴部分にあたる部分に適宜穴を開けて下さい。



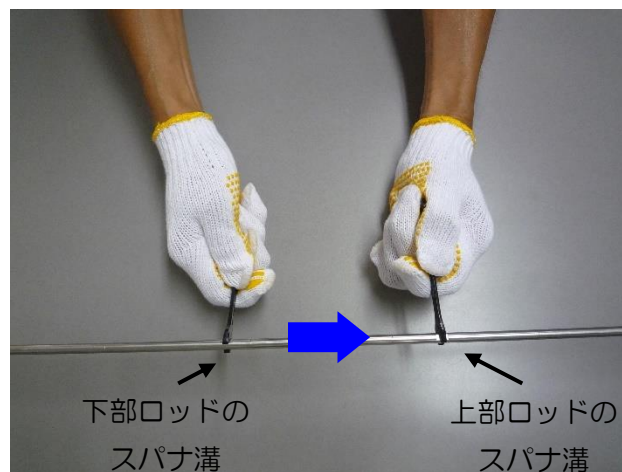
5. 組み立て方法

5-1. 全長 70cm で使用する場合

- 1) ハンドル部の雌ネジに上部ロッドの雄ネジを挿入し、付属スパナで締め付けます。



- 2) 上部ロッドの雌ネジに下部ロッドの雄ネジを挿入し、付属スパナで締め付けます。



※ロッドのネジが緩んだままご利用されますと、ネジ部が曲がったり折れたりしますので、必ずご利用毎に緩みが無いことをご確認下さい。

5-2. 全長 35cm で使用する場合

ハンドル部の雌ネジに下部ロッドの雄ネジを挿入し、付属スパナで締め付けます。



5-3. 組み立てた状態での携帯方法

組み立てた状態で収納袋に取り付け、携帯することも可能です。

収納状態



背面



背面ベルト通し使用例

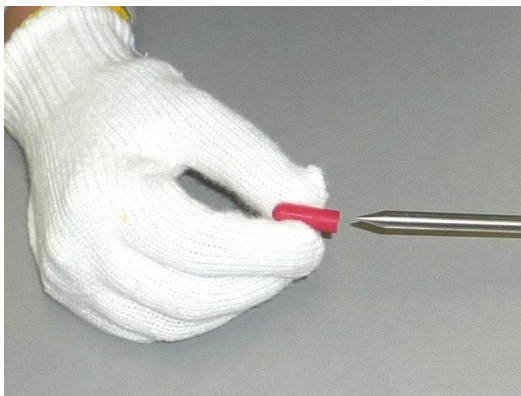


ハンドルカバー（試供品）を装着した場合の使用例



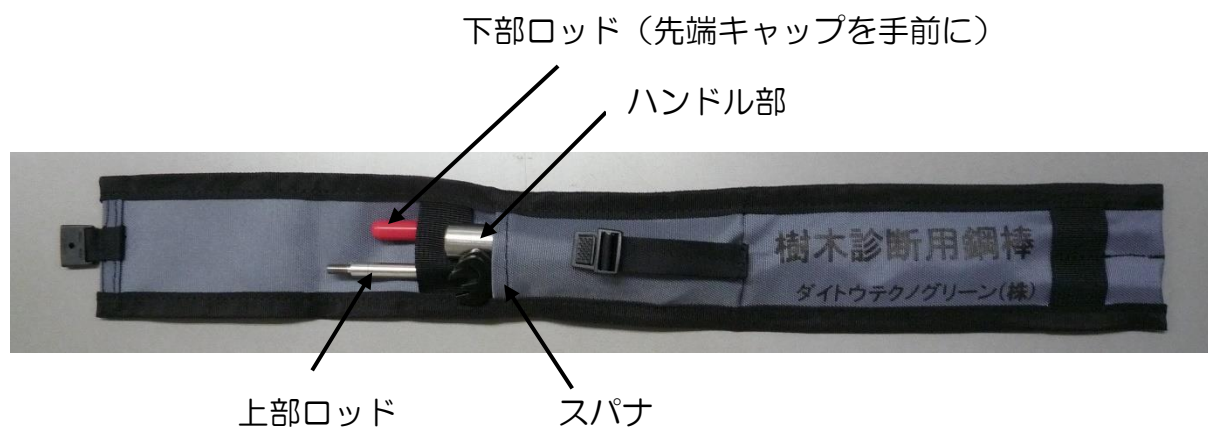
6. 分解・収納

分解する際は、「5. 組み立て方法」と逆の順序で取り外します。
下部ロッドの先端の汚れを拭き取り、必ずキャップを装着して下さい。



※キャップを下部ロッドへ深く挿込みすぎると、キャップに穴が開くことがありますのでご注意ください。

収納袋のポケットに各部品を挿入し、折り畳んでベルトを締めます。



※下部ロッドは先端キャップを手前にしてポケットに挿入して下さい。
もし逆にキャップ部から先にポケットへ挿入しますとキャップがポケットの奥に入り込んでしまい、取り出しが困難になりますのでご注意ください。

<参考：ハンドルカバー（試供品）を装着した状態での収納>



Memo

Memo

7. その他

その他ご不明な点は下記販売元までお問合せ下さい。

Ver.2.0

製造・販売元
ダイトテクノグリーン株式会社
〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3
TEL 042-721-1703
FAX 042-721-0944
URL <https://www.daitoutg.co.jp>